

# 天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

## 先輩方、貴重なお話ありがとうございました

3月15日(火)、キャリア教育の一環として2年生で「ようこそ先輩」の取組を行いました。今年度も昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で「職場体験学習」中止となりました。その代わりとして、社会人の方4名をお招きして、仕事に対する姿勢や思い、大切にしている事などをお話ししていただきました。

私が感じたことは、その行動力と発想の豊かさです。最初にお話ししていただいた東出さんは理学療法士として10年勤めていた病院から独立し、国家資格で得た理学療法という技術をもっと違った形で活かせないだろうかと一念発起(いちねんぼっき)し「Kuta Kuta」というリラクゼーションサロンを開業しました。また、タイで受けたマッサージの気持ちよさが忘れられず、これも今後必ず役に立つだろうと、現地タイでマッサージの国家資格を取得したそうです。※ゾウ使いの国家資格もラオスで取得したそうです。驚き!

そして、二番目にお話しいただいた遠藤さんは「Enter Japan」というWeb関係のお仕事(経営者)をされている方でした。家業の写真屋を継ぎましたが、写真業界の低迷とリーマンショックによるダブルパンチで破産。その経験から「当たり前の怖さ」「コミュニティの大切さ」「行動力必要性」を自分の失敗(しくじり)を例に語っていただきました。

また、中森先生の「採用するならどのような人材を求めますか?」との質問に対して遠藤さんは「日々の積み重ねが大切。どんなに取り繕っても、とっさの時には地道に培ったものが生きてくる。」というような答えが印象的でした。

中学生の時期に将来どのような職業に就くかを具体的に思い描くことはなかなか難しいことだと思います。しかし、今回のお話から働く上で「何が必要か」「今何をすべきか」を知ることができたと思います。ここで学んだことを日々の生活で実践し、未来を切り拓く力を身に付けていってほしいと思います。

- 東出 真奈未さん(Kuta Kuta)      ○遠藤 大輔さん(Enter Japan)  
 ○稲垣 祐花さん(株式会社JTB)      ○桂 雅之さん(株式会社三螢)  
 お忙しい中、本校の教育活動にご協力いただきありがとうございました。

### 【生徒の感想です】

4名の社会人の方全員が自分の仕事、職業にやりがいをしっかり見い出していて、自分も将来やりがいを感じられる仕事に就きたいと思いました。自分はまだ将来のことについてあまり考えていないけれど、就きたい職に合わせた高校、大学に進学することが重要だと実感し、将来のことを考える良い機会になりました。4人全員が話してくれた内容が異なっていたけれど、どの方のお話もこれからの自分の人生を豊かにしてくれる大切なコツだと分かりました。



すごく壮大な人生を送っていて、いろんな経験を乗り越えていてすごいなと思いました。お話がとても面白くてすごく楽しかったです。遠藤さんは当たり前が一番怖いと言っていて、ほんとにそうだなと思いました。当たりの道に行くんじゃなくて、違う道に行ける人は社会に必要とされているんだろうなと思いました。

あいさつがすごく大切だというお話を聞いて、その通りだと思いました。私は小学生の頃はすごく元気にあいさつをしていましたが、中学生になってそこまであいさつができなくなってしまっています。なので、小学生の頃のように元気にはできませんが、もっと自分からあいさつしていけるように頑張ろうと思いました。また、学校で桂さんに会ったら必ずあいさつします！

東出さんのいつも何事にも挑戦するその姿がすごくカッコよくて、めっちゃすごいと思いますし、尊敬します。あつばかりの人とでも仲良くなれることに驚きました。私も何か初体験してみようという勇気がわいた感じがしました。勤めていた病院をやめて、自分が本当にしたいことへ転職していくところが、私だったらそのままの仕事にいてしまいそうなので、本当にすごいと思いました。私も東出さんみたいに挑戦していきたいです。

どの人も、チャレンジすることやコミュニケーションが大切だと言っていたことから、これからはそこを意識していこうと思った。「当たり前」にとらわれては自分の可能性を活かしきれないと分かった。仕事を見つけるきっかけはすごくさいいな事から始まったりすると分かった。これからは、今いる友達を大事にして、今しかできない事は楽しんでいこうと思った。また、あいさつの大切さも分かった。

修学旅行の話を知ることができました。約1年半もかけて計画されていると聞いて、びっくりしました。旅行先でも何十人もの人たちが協力して仕事をするによって成り立っていると聞いて見えないところでもたくさんの方が働いているんだなと知ることができました。

東出さんの話は驚くことが多くあったため印象に残りました。例えば、面白そうという理由でゾウ使いの資格を取りに海外へ行ったことです。他にも、世界のマッサージ巡りをしたり、マッサージを学ぶためにタイに行ったりと、知らない場所にたくさん訪れていることにも衝撃を受けました。東出さんが挑戦してみること、交流してみることが大事とおっしゃっていました。経験から分かったことなので、私もこ挑戦してみようと思いました。

